

## メッセージ

昭和大学病院 病院長 <sup>さがら ひろのり</sup> 相良 博典



新入職員の皆さま、おめでとうございます。  
ご自身の志を大切に、一流の医療人を目指し、新しい風を起こしてくれることを大いに期待しています。  
昭和大学病院が理想とするチーム医療の実践には、オープンに意見が言える風通しの良さが重要です。  
しかし、それは、言いたいことを好きに言えば良い、というような単純なものではありません。患者さんのための最善の医療を実現するという目的に向かって、各々がプロフェッショナルな医療人として、自己責任のもと、互いへの敬意と尊敬を忘れずに意見を言い合えることが、大切だと考えています。新鮮な感性を大切にいただきながらも、まずは、昭和のチームメンバーになって欲しい、ということに尽きます。

一緒に仕事をするだけならグループです。チームとは、信頼関係をベースに、相手を思いやりながら、一つの目的に向かって努力できる集団のことです。

毎日、目を合わせて心からの挨拶をする。それだけでも信頼関係は育まれます。ありがとうと声に出す。お疲れ様でしたと労り、お陰様でと感謝する。そのような、日々の振る舞いが、心の通い合いや強い信頼関係の源となるはずで。

さて、皆さん「何を幸せと感じ、何を不幸せと感じますか？」

ヒトの認知の仕方とは、まず、思いや考えに言葉を与えて、それから映像を認識し、その後に感情が生まれるのだそうです。

遭遇する場面、場面を、ピンチ！と名付けるか、チャンス！と呼ぶか。

物事を捉えるということは、まず、その瞬間的な判断で、自分が慣れ親しんだ言葉の中から名付けて、分類するということなのです。

最近の認知科学分野の研究からも明らかになったことなのですが、記憶はその部品がヒトの脳にバラバラに収められていて、そこに感情は紐付いていないのだそうです。それを思い出した瞬間に、嫌だ！とか、怖い！とか、嬉しい！とか、その瞬間の判断と感情をのせるのだということです。

つまり、過去のある体験を意味付けるのは、なんといま現在の自分なのです。言い換えれば、今を起点に、都合が良いように解釈すれば良いのです。

都合が良いように、とは、自分や世間に対しても都合が良いようにありたいですから、出来るだけポジティブに、未来志向で過去の出来事を解釈すれば良いでしょう。

あの時、こうしなかったから、いま、こんなにも不幸なんだ。なんて考えるのは、全く意味がありません。どうしようもないことを思い出すのは、不健康なことです。ですから、よくない思い出が蘇れば、その時に、単なる出来事として受け止めて、そこに負の感情を入れず、今の自分にとって、都合が良いように、さあ頑張ろうと、力が湧いてくるように捉えなおせば良いのです。

過去の出来事からは、謙虚に学び、それを明日への力にすれば良いだけです。その時々最善を尽くせば、あの時こうしていれば、などと思う必要もないでしょう。

ですから、これから自分が何をやるか、どうなるかということと、過去にはなんら関連がない、とも言えます。

新型コロナの幾度とない波のために、職場の高負荷が続いています。

しかし、その間も季節は巡り、自然は確かなリズムを刻んでいました。

四月のはじまり、一年間の自然の変化を五日刻みで名付けた七十二候では、燕が海を渡ってやってくる頃であり、春の深まりとともに、空気が潤い、雨上がりには美しい虹が見られる季節とされます。

冷たい冬を終えて、陽光を浴び、伸びゆく若木のように、皆様ますます発展されることを祈念しています。

いつ咲くかは気にしない。咲いた時に、喜ばばいい。

きっと必ず、サクラサク。

新入職員の皆さま、ご入職おめでとうございます。これからは本病院が皆さまにとりまして素晴らしい職場になると同時に、皆さまが良き医療人になれるよう祈念いたします。

本学は創立 94 年の歴史と伝統を有する大学病院です。昭和大学病院・附属東病院は 2017 年に厚生労働省から全国に指導がありました医師の働き方改革の一環として、シフト勤務制を特定機能病院としては全国に先駆けて開始いたしました。その後 2 年以上に及ぶ COVID-19 感染症流行の中で人々の価値観も変化しているのも事実です。



昭和大学附属東病院は脳神経内科、精神神経科、眼科、ペインクリニックに加え 2017 年 7 月から整形外科と脳神経内科における脳卒中グループは両病院で診療をしております。2018 年からは睡眠医療センターおよび呼吸ケアセンターを、昨年からはリウマチ膠原病内科と甲状腺センターの診療を東病院で開始いたしました。

このように今、昭和大学病院・附属東病院は創立 100 周年に向け、両病院が共に連動・連携しながら機能的に素晴らしい病院に Version-up するように走り続けています。建学の精神である Patient First と心から温かみのあるヒューマニティーあふれる医療を核とし、同時に大学病院として高度先進医療を展開してゆけるように細心のケアと努力を重ねてゆきましょう。



### 昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成



### 昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

# 食道がんセンター

といえば **昭和大学病院**

## ～ 食道がん、食道胃接合部がんの あらゆる最先端治療を行います ～

### ■ 「食道がんセンター」とは・・・

食道に関連したがんを扱う事に特化した他に類を見ないがんセンターです。内視鏡治療から手術、薬物療法、放射線治療まで、食道に関するあらゆる最先端治療を担います。

(R4.2月～従来の診療科「食道外科」を無くし、「食道がんセンター」に統一しました)



術後胸部創写真

### 低侵襲手術：胸腔鏡手術 100% (過去 10 年)



食道がんセンター  
センター長・特任教授  
村上 雅彦

低侵襲手術を目指し、1996年より大きく開けない胸腔鏡下食道亜全摘術を実施。現在まで **1500** 例以上、年間 **120** 例以上と実施経験があり、致命的とされる術後合併症の低率化を実現しています。

内視鏡による早期癌の切除や、「ダ・ヴィンチ」という手術支援ロボットを用いて患者さんに応じて低侵襲手術を行っています。



食道がんセンター  
教授  
大塚 耕司

◆最先端薬物療法/放射線治療・・・食道がんの特化した薬物療法、放射線治療を行います。腫瘍内科・放射線治療科・頭頸部腫瘍センター・消化器内科・リハビリ科・歯科など、多くの科との合同カンサーボード、チーム医療を実践しています。

【食道がんセンター初診外来】 月～土曜日 8:30～14:00

❖ 医療機関専用回線 03-3784-8400 (平日 8:30～18:00/土曜 8:30～17:00)

食道がんセンターWeb : <https://www.showa-ecc.com>

## 新規配属

## 【新規採用】

2022年4月1日付

- 眼科 石橋慧一、關遥夏、土野圭
- 感染症内科 温麟太郎
- 救命救急科 青木献広、森ちひろ、島田拓哉、皆川駿
- 形成外科 大原卓也、松井容
- 血液内科 岡村玲子
- 呼吸器・アレルギー内科 岩住衣里子、島村美理、後藤唯子
- 呼吸器外科 神武輝、吉田勤
- 産婦人科 石塚健介、辛俊幸、田村麻里子、長久保貴也、長坂彩、西ヶ谷温希、蜂須賀愛、廣瀬梨紗、関根愛子
- 耳鼻咽喉科 木勢彩香、佐々木裕奈
- 循環器内科 石川貴将、片桐順史、河原咲子、鈴木健悟、布施汐理、山下智慶、山本祐実、蜂矢るみ、大石庸介、小倉邦弘
- 消化器・一般外科 幕内陽亮、宮坂俊、
- 消化器内科 野田武史、坂隆寛、水野紗也香、野口敏宏
- 小児科 立野茉咲子、中島論子、永田桜子、江畑晶夫、関沙和、安部マリア
- 小児外科 安達聖、富永美璃
- 腎臓内科 有田菜由、飯田菜央、小林和貴、田中優希、黒岩里沙
- 整形外科 岡崎裕一郎、小川稜示、片山悠志、小室嘉尚、酒井周、西方一将、山本翔太、和田一輝、齊藤洋幸、諸星明湖、森佑介
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 音山友里恵、神戸理紗、八島広典
- 乳腺外科 大乗志帆、峯陽子
- 脳神経外科 市川綜一郎、中村彰宏、名取郁哉
- 脳神経内科 野勢崇博、橋口幸宜
- 泌尿器科 玉岡容、川村杏樹、鄭有珍
- 皮膚科 橋本恵里、三浦淳、村山友理、山本彩夏
- 放射線科 榊原千秋、牧田真弥、大石万里、伊藤康介、
- 麻酔科 植野太佳裕、菊地健太、杉山晴香、濱口聖大、山口純可
- リウマチ・膠原病内科 矢部祐章、鷺澤恭平
- リハビリテーション科 小林崇久

2022年4月25日付

- 集中治療科 五十嵐友美

## 【附属施設から】

2022年4月1日付

- 眼科 三浦瑛子（横浜市北部病院から）、福岡聖也（横浜市北部病院から）
- 救命救急科 菊地一樹（藤が丘病院から）
- 呼吸器・アレルギー内科 眞鍋亮（江東豊洲病院から）
- 産婦人科 中林裕貴（江東豊洲病院から）
- 耳鼻咽喉科 泉本彩（藤が丘病院から）、郡司寛之（藤が丘病院から）
- 消化器・一般外科 篠原由加里（横浜市北部病院から）
- 小児科 浅山真史（江東豊洲病院から）、柿佑樹（藤が丘病院から）、茂木桜（横浜市北部病院から）
- 腎臓内科 美馬友紀（江東豊洲病院から）
- 精神神経科 西山華（横浜市北部病院から）
- 整形外科 武田英明（藤が丘病院から）、月橋一創（藤が丘病院から）
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 呉将禎（江東豊洲病院から）
- 乳腺外科 松柳美咲（藤が丘病院から）、吉沢あゆは（江東豊洲病院から）
- 脳神経外科 久保美奈子（藤が丘病院から）、東園和也（江東豊洲病院から）
- 脳神経内科 久保田怜美（横浜市北部病院から）、加藤悠太（江東豊洲病院から）、和田隆秀（江東豊洲病院から）、正路大樹（藤が丘病院から）
- 泌尿器科 富山亮弘（横浜市北部病院から）、麦田稔貴（横浜市北部病院から）、山岸元基（藤が丘病院から）
- 放射線科 関本篤人（藤が丘病院から）樋口舞香（横浜市北部病院から）
- 放射線治療科 西村恵美（江東豊洲病院から）
- 麻酔科 石原大雅（藤が丘病院から）、梅本理子（歯科病院から）
- リハビリテーション科 高岡哲也（藤が丘リハビリテーション病院から）
- 臨床病理診断科 北條真鈴（江東豊洲病院から）

## 【学外研修から】

2022年4月1日付

- 眼科 宮澤和基、
- 感染症内科 安部貴志
- 救命救急科 島田雅之、原野康平
- 形成外科 野村美佐子
- 頭頸部腫瘍センター 渡井彩
- 呼吸器・アレルギー内科 鬼塚千慧
- 産婦人科 山田恵美、坂場大輔
- 耳鼻咽喉科 溝上雄大
- 消化器・一般外科 加納美春、藤政浩一朗
- 整形外科 澤井久延、可知格、荻原陽、宮本庸平、中村彰太
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 尾町健将、白神佳枝
- 脳神経内科 中西達彌、柿沼佑樹
- リウマチ・膠原病内科 清水国香



## 異動

【附属施設へ】2022年4月1日付

- 眼科 桂沙樹（江東豊洲病院へ）
- 救命救急科 香月姿乃（藤が丘病院へ）
- 呼吸器・アレルギー内科 福田陽佑（江東豊洲病院へ）
- 消化器内科 工藤豊樹（横浜市北部病院へ）
- 小児科 石田竜之（藤が丘病院へ）、平岡理沙（藤が丘病院へ）、服部透也（横浜市北部病院へ）
- 循環器内科 杉山拓土（藤が丘病院へ）、安達太郎（江東豊洲病院へ）
- 腎臓内科 井芹健（江東豊洲病院へ）
- 整形外科 筒井完明（横浜市北部病院へ）
- 脳神経外科 大岩彬人（横浜市北部病院へ）、平戸麻里奈（藤が丘病院へ）
- 脳神経内科 洲之内あずさ（江東豊洲病院へ）、渡辺慶子（横浜市北部病院へ）、木村篤史（江東豊洲病院へ）
- 泌尿器科 黒川聖容（横浜市北部病院へ）
- 放射線科 萩原遼太（藤が丘病院へ）、今井里香（横浜市北部病院へ）
- 麻酔科 金田有理（藤が丘病院へ）、岡崎晴子（藤が丘病院へ）
- リウマチ・膠原病内科 大城剛志（藤が丘病院へ）
- リハビリテーション科 森田裕子（藤が丘リハビリテーション病院へ）

【学外研修へ】2022年4月1日付

- 眼科 鳶寄薫
- 救命救急科 柳澤薫
- 形成外科 頰彦尚
- 呼吸器・アレルギー内科 伊地知美陽、望月薫、池田均
- 産婦人科 出嶋弥広
- 循環器内科 市川沙綾、高井優希、中澤幹、宮崎はるか、千葉雄太
- 消化器・一般外科 片山諒、柴田英貴、藤森聰、井関貞仁、望月清孝
- 食道がんセンター 佐藤義仁
- 消化器内科 富士貴弘、森大地、中谷溪、中山顕皓、市川雪
- 小児科 白井まどか、大川恵
- 腎臓内科 稲葉大朗、寺戸成美
- 整形外科 内山駿治、櫻井裕、櫻井佑斗、田代皓一郎、西岡義貴、深井翔介、齋藤創造、西正智
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 井上彩、小川舞帆、川上来知、陶山友里恵、高畑洋
- 脳神経内科 小澤準之輔、片岡和之
- 泌尿器科 天野悟志、水沼萌、鶴木勉
- リウマチ・膠原病内科 道津侑大、山本貴恵、上杉由香

## 退職

2022年3月31日付

- 循環器内科 児玉雄介
- 形成外科 青木絢子
- 腎臓内科 和田幸寛
- 整形外科 鈴木達矢
- 食道がんセンター 加藤礼
- 耳鼻咽喉科 相馬裕太
- 脳神経内科 栄良樹
- 呼吸器外科 片岡大輔
- 緩和医療科 飛田真砂美
- 産婦人科 深澤美葉
- 消化器・一般外科 大野浩平
- 皮膚科 松原花奈子
- 集中治療科 近藤一哉



当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

### 理学療法士から医師へのありがとう！



緩和医療科 西木戸先生

緩和医療科 西木戸先生へ

病棟の回診時、患者さんのリハビリが円滑に行えているかをリハビリのスタッフに聞いてくれます。

【患者さんに与えた良い影響】

疼痛や体調が優れない患者さんに、迅速かつこまやかな薬剤でのコントロールを行い、リハビリがしやすくなっています。

感染症内科の時松先生へ

PCR 検査やコロナ会議の後等、リハビリのスタッフに対し、感染対策の的確な指示や、コロナ対応に対するねぎらいの言葉をかけていただいています。

【患者さんに与えた良い影響】

安心して患者対応、リハビリへの専念ができています。



感染症内科 時松先生

### 総合サポートセンターから事務部へのありがとう！



事務部 山本さん・下田さんへ

沢山の電話、来談にも、落ち着いて柔軟に対応してくださっています。緊急の仕事も、笑顔でテキパキこなしてくださり、助かっています。

【患者さんに与えた良い影響】

的確な引継ぎや、お待ちいただく時間もこまめに声掛けしてくださり、相談しやすい環境を作ってくださいありがとうございます。



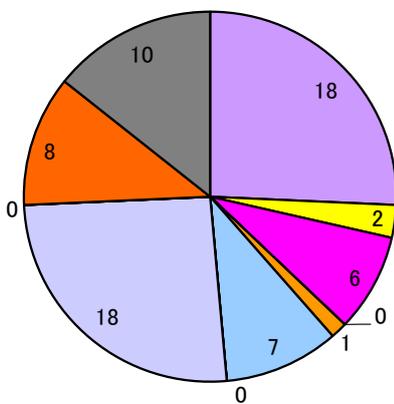
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

# 患者さんのご意見・ご要望

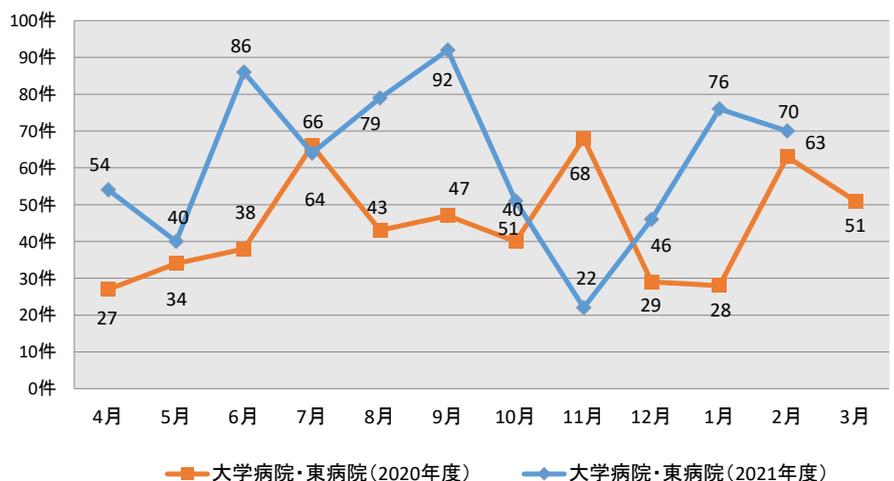
ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>CT 検査時に検査着を着用させていただきたいです。</p> <p>先日、検査着を希望しましたが、断られ、造影剤の注射針から薬剤と血液が漏れて、洋服が汚れてしまいました。</p> <p>希望者には快く、着替えの場所と検査着を与えていただきたいです。</p> <p>また、階段を利用したいのですが、関係者以外立ち入り禁止になっているので、階段も使えるようにしていただきたいです。</p>	<p>この度は、検査に際し不備があり、申し訳ございませんでした。</p> <p>運用上、CT 検査に支障のない着衣をお召の患者さんには、検査着の貸し出しを行っておりません。</p> <p>今後につきましては、検査着の貸し出しをご希望された患者さんへは貸し出しをする運用で統一いたします。</p> <p>貴重なご意見いただきありがとうございました。</p>	放射線技術部
<p>子供が怪我をし、地域の整形外科に行きましたが、診療できないと断られてしまい、口頭で昭和大学病院を紹介されました。</p> <p>紹介状はなく、当日の受付時間を過ぎていたのですが、診ていただけありがたかったです。</p> <p>また、痛がったり不安がったりする子供に、丁寧に対応していただき、本当にありがとうございます。</p> <p>診察後、子供が「ちゃんと診てもらい、処置してもらったから安心して寝られる」と言っていました。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。また、お褒めの言葉をいただき、スタッフ一同大変励みになります。</p> <p>お子様の怪我は、とても不安だったと思います。痛みや処置に対しての不安があったにも関わらず、お子様から「安心して寝られる」というお言葉を頂き、とても嬉しく思います。</p> <p>今後も丁寧な対応を心がけ、患者さんが安心して外来受診できるよう一層努力してまいります。</p>	看護部

2022年4月号掲載分  
ご意見・ご要望の内訳  
昭和大学病院・東病院総件数  
76件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

2020年度・2021年度ご意見・ご要望の推移



ゴールデンウィーク期間の外来診療は以下の通りとさせていただきます。  
患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療体制	
	外来	救急外来
2022年4月29日（金・祝日）	休診日	救急診療は全日 通常通り実施します。
2022年4月30日（土）	通常診療日	
2022年5月1日（日）	休診日	
2022年5月2日（月）	通常診療日	
2022年5月3日（火・祝日）	臨時診療日	
2022年5月4日（水・祝日）	【内科系】【小児科】	
2022年5月5日（木・祝日）	8：30～17：00	

臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。  
診療費として、時間外選定療養費（8,800円）（注）および休日加算が適用となります。

（注）紹介状持参、当院かかりつけの臨時再診（来院指定）の患者さまは時間外選定療養費の徴収はありません。

昭和大学病院の東、東病院の西には立会川があります。この立会川の両側は桜並木となっており、大学キャンパスと同時に桜が満開の季節には桜の花に包まれながら春の気候を味わえるのは、旗の台ならではの贅沢ですね。さて、4月には卒業したての若者たちが、希望と不安を胸に新入職員として入職いたします。多々至らないところもあると思いますが、一生懸命な我々の新しい仲間の成長を暖かく見守っていただくと幸いです。共に学び、共に汗をかきながら、患者さんのために、よりよき医療を捧げてゆきましょう。

#### ※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員： 稲垣 克記、入山 洸希、大江 克憲、岡崎 靖子、嶋村 弘史、鷺見 賢司、富田 英、中村 清吾、畑 麻紀、安田 光慶、山岸 昌一、山下 剛史、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡（50音順）



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院

発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 中村 清吾

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）